旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２１年６月６日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	讃美歌527「わが喜びわが望み」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	讃美歌493「罪の渕に陥りて」	一　同
教会学校	紙芝居「家に帰ろう」	牧　師
讃　　美	讃美歌508「主よ日に日に」	一　同
聖書朗読	黙示録5;1-5	
奨　　励	黙示録の福音(第11回)	牧　師
主　　題	「もう泣かなくてよい」	
讃　　美	Ⅱ讃美歌136「われ聞けり彼方には」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	讃美歌546「聖なるかな」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	**エズラ記第１章**	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
６／６（日）聖日礼拝
／７（月）
／８（火）
／９（水）
／10（木）9:30祈り会
／11（金）
／12（土）13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちも救われますように

良書ハイライト

「物語る本をめぐる物語」

大頭眞一（月刊「本の広場」2021年６月）

一冊の本との出会いが人生を変えることがある。25年ほど前のこと、当時三菱重工で働いていた僕は牧師を志し、英国ナザレン神学校で学ぶことになった。退職まで一年を要したので、その間に読むものを求めたところ、当時のマゴニガル校長から届いた13冊の1冊がMichael Lodahl（マイケル・ロダール）著 The Story of Godであった。

表紙のポップな色づかいにかかわらず、当時の僕にはまったく歯が立たなかった。こんなことで留学して大丈夫かと、かえって不安になったぐらいだ。英語力の不足、神学書を読むのが初めて、というハンディキャップ以外に、この書が読む者にパラダイムシフト（視点の変換）を迫ることにも原因があることに気づいたのは、かなり後のことだった。聖書は物語。主人公である神が、愛ゆえに私たちとかかわり続ける物語。世界もまた神の愛の物語。これだった。

僕は本を読むのも理解するのも遅いほうだと思う。何を読んでもきちんと分かった気がしない。けれどもこの本だけはきちんと理解しなければならないような気がした。でもただ読んだだけでは何が書いてあったのか、すぐに忘れてしまう。そこで牧会の合間に少しずつ翻訳し始めた。分からないところは著者ロダールにメールで訊ねた。それでもわからない箇所は書き直してもらった。今思えばよくつき合ってくれたと思う。十年が過ぎ、訳稿を藤本満牧師にお見せしたところ、お世話下さって思いがけなくも日本聖化協力会出版委員会から「神の物語」として出版、二刷を重ね、現在はヨベル社から新書上下二巻で流通している。

その後、ロダールの来日・講演や、「神の物語」由来の僕の著書の刊行など、ただあっけにとられる展開が続いている。一冊の本との出会いが人生を変えることがあるのだ。